

コード	3461	授業科目	薬学セミナー（6）		
担当者	薬学部専任教員	開設学部学科	薬薬学		
科目区分	専門教育科目				
開講クラス	薬3	開講期	後期	単位数	1
履修上の条件	なし				
履修者数上限	なし				
【授業の目的およびねらい】 薬学セミナー（6）は、薬学セミナー（5）に続き、選んだテーマについて、1，2年生をサポートしつつ取り組み、研究の手法を体験することにより、自ら興味を持つ課題に対し、能動的に学習・調査し、得られた結果を解釈する能力、わかり易く伝える能力、そして、リーダーシップや後輩を上手にサポートする技術の、一層の向上を狙う。 この科目は、指導教員や下級生とのコミュニケーションを促進する目的も兼ねているので、積極的に教員や下級生とコミュニケーションを取り、コミュニケーション能力も一段と伸ばして欲しい。					
【授業の概要】 学生は、指導教員および後輩と相談してテーマを決め、後輩をサポートしつつ、インターネットや書籍の情報収集、アンケート等の調査、簡単な実験等を実施する。学習した内容は、まとめて発表する。 薬学セミナー(6)では、薬学セミナー(5)と連携して、1つのテーマについて1年の期間を使って調査・実験等を行うことも可能である。時間をかけて1つの問題に取り組み、友人や後輩と共に問題を解決するために努力し続ける姿勢を育む。					
【授業計画】 1. オリエンテーション テーマの選択 2. 学習・調査方法の検討 3. 調査と研究, 討論 下級生のサポート その1 4. 調査と研究, 討論 下級生のサポート その2 5. 調査と研究, 討論 下級生のサポート その3 6. 調査と研究, 討論 下級生のサポート その4 7. 調査と研究, 討論 下級生のサポート その5 8. 調査と研究, 討論 下級生のサポート その6 9. 調査と研究, 討論 下級生のサポート その7 10. 調査と研究, 討論 下級生のサポート その8 11. 調査と研究, 討論 下級生のサポート その9 12. 発表の準備 13. 発表とまとめ その1 14. 発表とまとめ その2					
【評価方法】 この科目は、知識を得るだけでなく、態度や技術、習慣形成も目標としているので、すべての授業に出席し、セミナーに積極的に参加し、教員や後輩とコミュニケーションを取りながらテーマに取り組んでいく姿勢を高く評価する。 総合成績は、出席および態度、課題提出等の日常点を8割程度とし、中間発表とそのレポートの評価を2割程度加えて判定する。					
【テキスト】 テキストは使用しない。資料の配布や参考書の紹介などは、各セミナー単位で必要に応じて行う予定である。					